



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No20

令和6.1.23

四国中央市立
小富士小学校

「老いる」と「古い」と

少し前になりますが、10月から11月にかけてくらいだったでしょうか。小富士小学校の北側の畑で、年配のご夫妻らしき二人が里芋を掘っていました。どんどん里芋が掘り出されているのを見ていると、何だかうれしくなってきた、ずっと見入っていました。しばらく見ていたのですが、また里芋が掘り出されたと思いきや、里芋のように見えていたのは、おじいさんのごつごつした握りこぶしでした。そのごつごつした手を見て、映画「風の谷のナウシカ」の中で、老人（城オジのゴル）の「わしらの姫様は、この手を好きだと言ってくれる。働き者のきれいな手だと言ってくれましたわい。」の言葉を思い出し、本当に

そのとおりで思いながら、素敵な手だなと心の中でつぶやいていました。年を取るとは、真面目に働き、一生懸命に生きてきた証を自分の顔や手に刻んでいくこと、こういうことなのかと…。こう考えれば、老いることは素敵なことです。そもそも「老」という字は、単に年を取るという意味だけでなく、例えば老中や、大老、元老などに使われるように、年を取って物事をよく知



（スタジオジブリから提供の無償画像）

っている人や徳の高い人のことを指す意味があります。年を取ることによって身体的に衰えていくことや容姿が老けていくことを、多くの人が悲観的に感じるせいで、「老いる」ことにマイナスイメージが付いたのかもしれませんが。前述のとおり、老いることは素敵なことですし、老いる前に命をなくす人がいることを思えば、老いるまで生きられたことは、とても幸せなことです。このようなことから、私は「老いる」という言葉が好きだというわけです。同じように「古い」にもマイナスイメージを持っている人がいると思いますが、私は「古い」という言葉も好きです。壊れて使えなくなった、まだ真新しい道具を見掛けると心が痛みます。古いものは、古くなるまで使えたということです。そして、ものが古くなるまで使えたのは、大切に使ったからです。古いものには、歴史や思い出、使ってきた人たちの「大切」が詰まっています。小富士小学校の施設・設備等は古いですが、けっしてボロくなく、代々大切に使ってきたことがよく分かります。今年、来年、再来年と小富士小学校は様々な工事を行う予定になっています。必要な修繕等は行っていきますが、今まで以上に小富士小学校の施設・設備や学校にあるものを、もっと古くなるまで大切に使用したいと思います。1月30日(火)には、「ふるさとふれあいウォーキング」を実施する予定です。「古里(ふるさと)、小富士」の歴史に、その良さに出会い、「故きを温ねて新しきを知る」ことのできる一日になるだろうと思います。参加申込みをしていない人も、時間の都合が付くのであれば、ぜひ一緒にふるさと再発見に出掛けてみませんか。さて、私も「老人」と呼ばれる年が近付いてきましたが、果たして、私は素敵に老いることができるでしょうか。これからの生き方しだいですね。

ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>